

## 5. 寄稿文

### 新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験して

#### ～今出来ること、そして未来への備え～

ふくの若葉病院 看護職 柴田 裕介

私は8月下旬に新型コロナウイルス感染症に罹患しました。無症状で経過して後遺症もなく元気に過ごしています。

当院では8月下旬に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しました。その過程で職員は抗原検査を受けたところ陽性と判明しました。自身の行動を振り返ると職場と自宅の往復であり近所の居酒屋での晩酌も自粛していました。発症日の3日前は休日で日課のウォーキングを行い、連休でもあり深酒をしたこともあり、少しの倦怠感がありましたが、咽頭痛や発熱はありませんでした。

私のように無症状の職員が新型コロナウイルス感染症に罹患していることに気がつくことなく業務に従事してウイルスが蔓延するという危険があると感じました。

人によって病院への受診基準が違うこともウイルスを蔓延させる要因になると思います

日々の自身の体調管理は重要になると思います。少々体調が悪くても無理に勤務する職員がいるかと思われませんが体調不良時は遠慮なく休暇を取得できる職場環境が大切です。

そして、職員全員が満足感を得られる職場になるように努力していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症の患者さんの看護・介護の提供についてははじめは戸惑いと不安がありましたが物資の方も徐々に用意され夜勤体制は看護2名・介護2名の4名体制となり徐々に負担の軽減になったと感じました。

しかし、夏場であり防護服を着ての看護・介護の提供には暑さを感じ脱水症状を呈することがありました。防護服を一度着用すると脱ぐのに時間を要し途中の水分補給を我慢していました。

患者さんは、入浴、リハビリが制限されました（毎日の陰部洗浄・顔拭き・週1回清拭は行なっていました）私は、新型コロナウイルス感染症に罹患した日から1週間、入浴はしない生活を送りました。痒みや顔に、にきびのような物が出ました。患者さんはクラスターの終息までの1ヶ月あまり大変辛い思いをされたのではと、新型コロナウイルス感染症時の清潔ケアをどのように提供するかは課題であると思います。

（感染拡大のリスク高いが）

リハビリも制限されて以前のADLより低下した患者さんがいます。私は、日常より活動量が低下したのか短い距離を歩くのに下肢の重さを感じるがありました。新型コロナウイルス感染症時のリハビリ提供には感染拡大のリスクがあり実施には難しい面があると思いましたが、日々のリハビリの重要性を感じました。

今回の新型コロナウイルス感染症により数名の方が死亡されました。新型コロナウイルス感染症により以前出来ていたことが出来なくなる患者さんがいます。（食事摂取が出来なくなり代替栄養になった方、自分で食事摂取が出来なくなった方）そのような患者さんを見るにあたり今も自分が感染の原因ではなか

ろうかと自己嫌悪となり胸が苦しくなることがあります。自分を責めるのではなく今出来る事を懸命に行うことが大事だと感じます。気分転換も必要と思います。普段より贅沢な食事をする、趣味に没頭するなど少し非日常を満喫することが大切です。同僚からの温かい言葉はとても励みになりました。

先日、新型コロナウイルス感染症により転院をされた方が当院へ再入院になりました。その方の家族より「大変でしたね。我が家に戻ってきた感じで安心しています」と言われた時には当院での看護・介護サービスに対してお褒めの言葉をもらった感じがして少し苦労が和らぎました。

新型コロナウイルス感染症は、徐々に規制が緩和される状況にあります。しかし、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の懸念があります、私達は、今回のクラスターで経験した事、得た事を職員一同が情報を共有して辛い思いの方を最小限にする事が私たちの使命と思います。

先日、開催された研修、アンケート調査などにより記憶が新しい間に知識を共有することが大切です。今回、生じた問題事項は改善をすることも大切です。

長々と的が得ない文章でクラスターを経験した思いを書いてみました。

私は無症状でしたが新型コロナウイルス感染症により辛い思いをした人、今も辛い思いをしている人がいます。家族や知人などにも感染させないかと不安になります。新型コロナウイルス感染症の脅威を感じました。また、色々な事が心配になります。再度クラスターが発生した場合や稼働率が7割程に低下し収入が減少して賞与が支給されないのでは（エコキュートの支払いがあるので困る）とかなどなど。

職員一同がこの困難を乗り切ったように力を合わせて頑張ることが大切です。新しい仲間が増えました。10月の職員行動目標「相手の立場を考えた言葉づかいをこころがけましょう」とあるように互いを尊重して働きやすい職場にすることは大切です。

クラスターの発生時は数名の職員が陽性となり人員が不足しました。今以上に働きやすい職場となり新しい仲間が増えることにより困難事例下も人員不足を生じることなく乗り切れるのではと思う所存です。

私の希望・願いは、1：休憩室を設けて欲しい（費用がネックか）食事する場所と仕事に必要な物品がある場所が同一であり仕事と休憩の切り替えが出来ない。食事場所が狭く感染リスクが高いなどの問題があります。（働きやすい職場環境の整備）

2：新型コロナウイルス感染症が終息して氷見の民宿で美味しい魚料理を食べたいです。

（日々の頑張りに自分へのご褒美を）

3：日課であった心のオアシスである近所の居酒屋で晩酌できる日が来る

（心が安らぐ場所が必要。患者さんにとって当院が心のオアシスとなれば）

ことが私の願いでもあり希望として感想を終わります。

新型コロナウイルス感染症にて不安を抱えながらも色々な要望を快く応じてくれた厨房の職員、日々不安の中勤務された洗濯、清掃の職員の方々いろいろとお世話になりありがとうございました。心を一つにしてよりよい病院になるように頑張りましょう。

追記：ワクチン接種をした方としていない方の影響を知りたい。